

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------|------------|----------------|
| 事業所番号 | 2092500020 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人中部日中友好手をつなぐ会 | | |
| 事業所名 | グループホーム大地 | | |
| 所在地 | 長野県下伊那郡阿智村駒場703-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 24年 10月 24日 | 評価結果市町村受理日 | 平成 24年 12月 10日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/ |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------|--|--|
| 評価機関名 | コスモプランニング株式会社 | | |
| 所在地 | 長野市松岡1丁目35番5号 | | |
| 訪問調査日 | 平成 24年 11月 8日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

温暖な南信州で生まれ育った方々が、馴染みの人達や風景の中で安心してゆったり暮らせることができるよう支援します。開所6年目を迎え、元気で歩いていた方が車いすを使用ようになりました。入所者さんの状態の変化に対応できるよう、職員は日々研鑽を積んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

飯田市から中津川市へ向かう国道153号線から東に入った阿智川の袂に開設から6年目を迎えた木造平屋造りの当ホームがある。すぐ近くには長年の懸案で今年8月に起工された「満蒙開拓平和記念館」の建設の槌音が響いている。ホームの運営理念の一つ「山と谷に生まれた南信州の自然の中、ゆっくり、のんびり、一緒にをモットーに暮らしていけるよう支援します」の通り、ゆっくりした環境の中で利用者と職員が仲良く暮らしている。ホーム通信「ありがと ありがと」は日頃の職員の支援に対する利用者の素直な言葉からタイトルにしたもので、利用者側の気持ちだけでなく、常に利用者から元気を頂いている職員の利用者への感謝を込めたものでもある。この通信には各利用者の近況報告が綴られ家族の元へ毎月配布されている。日頃からお世話になっている地域の人々や職員のつながりから多種多様なボランティアに訪れていただけるようになってきている。職員は利用者の持つ残存能力を活かすため回想法に新聞の切り抜きをスクラップブックにしたり、利用者の生きてきた時代の出来事を年表にまとめたり、地元ならではの柿の皮むきをし見事な柿のすだれを完成させるなど献身的とも思える支援に当たっている。90歳代の利用者が三分の一おり、平均年齢も86.2歳、平均介護度も2.88であるが、数字以上に重度化と高齢化が進んでいるように思われる。利用者や家族、職員の無理のない支えあう関係が穏やかな暮らしへとつながっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当する項目に○印 |
|----|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | |